

令和4年度第1回三役・地区長会の概要

- ・令和4年6月23日（木）15:00～17:00
- ・私学会館5階会議室

◎ 千葉理事長挨拶

- ・協会運営にあたり各地区の状況を把握する必要があるためこの会を設置した。様々な問題や状況を提示していただき、ともに良い協会のあり方を検討していきたい。

◎ 意見概要（抜粋）

- ・地区長と三役による会は多分初めて。この15年ほどは法人の改革、新制度創設などがあり、地区長と三役で一緒に考えていく必要がある。
- ・園児数が減少する中、常置委員会などの組織は今の人数のままで委員が集まるのか。雇われ園長が圧倒的に多い中で、オーナー園長の持ち回りとなっている。組織の人数、規模を少しずつ縮小していかないと自園と協会が共倒れになる。
- ・私学助成園100%から新制度園への流れ、また運営側の形態も多様化しているのに対し県私幼のシステム・体制はあまり変わっていない。園数、園児数の減に伴い収入が減る。園形態の多様化に対応した組織をどう作るかが大事。
- ・以前は行政とのパイプは県私学振興課だけで良かったが今は県こども未来課や市町との関係性も重要。市町との関係は各地区、各市の団体が取り組むことになると思うが、それを受け止める県私幼の体制をどうするか。見直して本当に必要なものにカネと人をかけていくことを考えなければならない。
- ・あり方検討P（プロジェクト）の検討内容について開示していただきたい。検討事項ならそのように書いて出せば良い。
- ・この委員会に報告し、各地区長が責任を持って会員園に伝達すれば良い。地区での意見をまた集約すれば、地区の実情に合ったものになる。
- ・あり方Pでの検討課題と地区の課題は共通だと思う。ここで話して、地区の意見をいただくのがしっくりくる。
- ・意思決定のプロセスがはっきりしていれば良い。
- ・開示するなら早い方が良い。議事録作成には時間がかかるのでおおまかなプロセスがわかれば良い。会議後1カ月では遅い。1週間以内にはほしい。
- ・あり方Pには吉田委員やここのメンバーもいるので、ここでの話題はあり方Pにも出てくる。双方（あり方Pとこの会）で共有すれば良いと思う。
- ・地域向上委員会の地位を向上したい。組織上は理事会が決定機関だが、三役会で決まることも多々ある。地域向上委での意見はほぼスルーされている印象。地区長が来ておりトップの組織だと思う。もう少し県私幼の運営に活かされれば良い。これからの組織見直しの中で一緒に考えていただければ良い。
- ・地区長が理事を兼任すれば良いのでは？

- ・理事は委員会の正副委員長に就任するので大変。理事をやらない理由でもある。もう少し自由度が増せば。
- ・この会の開催頻度は、2か月に1回程度か。今月末の第1回あり方Pで次回が決まるのでそれを踏まえ本会の開催を決めたい。そうすれば、あり方Pで出たことがこの会に出せる。あり方P後、日程調整する。
- ・ここで出た地区の問題点などをどう変えたら良いかをありかたPで検討するのでは？ここには地区のしがらみを背負った地区長が来ているので、フラットな状態のありかたPが、地区ではこんな話が出て…
- ・そうすると、この場で課題を挙げなければならない。今のままでは吉田委員長（あり方P）が持ち帰るものがない。現状ではあり方Pとこの会がとりあえず並行していくことになる。あり方P委員の意見と合わせて決めていくしかない。
- ・どれくらいのスパンでやるのか。あまり時間はない。子どもは急激に減っているし、保育園の待機児童も無くなった。
- ・大まかな方向性は1年くらいで出さないと。
- ・公益法人化するには2年くらいのスパンは必要。財団と合併してということか？
- ・それも含めて話をしていく。公益化したら元に戻すことはできないので慎重に進める必要がある。